

金沢市立内川小学校
平成28年度 学力向上の取り組み（1学期）

1 現状・課題（全国学力・学習状況調査、県基礎自己採点の結果分析から）

<p>(1) 全国学力・学習状況調査、県基礎学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語：文章を条件に合わせて書く力が十分に身につけていない。 ：言語についての知識理解では、漢字を読む、正確に書く力、ローマ字を表現する力が十分でない。 ・算数：数学的な考え方の中で、言葉と式で説明する力が十分でない。 ：数量や図形についての技能の中で、長さの単位換算、重さの量感覚、分数の表し方や図形の性質（長方形）などの力が十分でない。 ・社会：複数の資料やグラフからの読み取りに課題がある。 ・理科：基礎的な実験観察道具の正確な使い方に課題がある。 	
<p>(2) 児童生徒質問紙（金沢型学習スタイルに関する設問について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問紙47「学級やグループ～自分から取り組んでいたと思う」が市の平均よりも低い数値となった。自ら考え、自分で考えるように授業改善の工夫が必要である。 ・質問紙52の「授業で、自分の考えを発表する機会～発表していたと思う」のでは、本校の児童の数値が市の平均よりも高かった。少人数授業の中で、発表の機会が多くとられていたことが考えられる。 	

2 重点的に行う取組と検証

		授業で行う取組		授業以外で行う取組	
		取組①	取組②	取組①	取組②
重点的に行う取組		算数用語を使い、まとめを自分の言葉で話し、書かせる。	全校共通のノート指導を行い、書く力を身につけさせる。	毎週末に、家庭学習で、目的に合った文や、条件付きの文を書くことに取り組ませる。	毎週月曜日の朝学習で、全職員で全児童を指導する。
検証の方法と指標	指導の状況	方法算数の時間に、算数用語を使って、まとめを指導する。 指標算数の時間での実施率80%以上	方法良いノートを学級掲示する。また、小部会で各学級のノートを交流する。 指標毎月1回以上の交流	方法日記帳、頑張りノート（自学ノート）等で状況を確認。 指標週1回以上	方法朝学習で、理解が不十分な児童を指導する。 指標週1回程度
	児童生徒の状況	方法毎日の算数ノートで確認。 指標児童アンケートの肯定的な意見の割合80%以上	方法毎月末の学習規律アンケートで確認。 指標児童アンケートの肯定的な意見の割合が80%以上	方法毎週末に量、内容など条件に合わせて日記帳などに書く。 指標条件に合う文章が書けるようになる子が全校の70%以上	方法ミニプリントなどで確認する。 指標学期末のまとめのテストで正答率が80%以上

3 年間計画

月	P D C A	授業で行う取組	研究授業	授業以外で行う取組
4月	計画	研究主任 学力向上案を立案 【日々の授業での取組】 ・ノート指導の提案 ・学習のルール取組週間の設定（毎月末）		研究主任 【学力調査採点と分析】 ・昨年度の学力調査、評価問題の結果と取組事項の確認と実践（～7月） 【朝学習】 ・国語漢字プリントの取組開始 【補充教室】 ・補充教室の開始（毎週金曜日6限） 【家庭学習の手引き作成】 ・保護者に家庭学習の有用性を伝えるプリント配布
5月	実践	全職員 ・授業中のノート指導 ・良いノートを交流、掲示 ・国、県の学力の調査事後指導（答え合わせ、問題の解説）		全職員 ・毎週末の課題確認 ・朝学習のプリント ・補充教室指導 全職員 ・県、国の調査を全職員で解答
6月	検証改善	研究主任 ・ノート指導チェック ・小部会で授業の様子確認	坂本教諭	研究主任 ・全校の取り組みを定着度テストで確認
7月	検証	研究主任 ・単元末テスト等で定着状況の把握		校長・教頭・教務主任・研究主任 ・1学期の成果と課題の整理 研究主任 【学力調査の結果分析】 ・国学力調査の結果分析および各教科での重点的な取組事項の確認 ・家庭学習の取組時間についての交流 教務主任 ・アンケートで評価を把握（児童・職員）
8月	計画	研究主任 ・学力向上案（2学期）を立案		
9月	実践	全職員 【日々の授業での取組】 ・学力調査で課題になった点や単元を具体策の実施により授業改善	紺谷教諭	研究主任 ・小部会で研究の取り組み状況確認
10月	実践	全職員 ・評価問題の事前指導 ・評価問題に向けての補充教室（～12月）	坂口教諭	研究主任 ・小部会で研究の取り組み状況確認
11月	検証改善	全職員 ・評価問題の事前指導	野村講師	研究主任 ・全校の取り組みを定着度テストで確認
12月	検証	全職員 ・単元末テスト等で定着状況の把握 ・評価問題の実施		【評価問題分析】 全職員 ・評価問題を解き、傾向を把握 教務主任 ・アンケートで評価を把握（児童・職員） 校長・教頭・教務主任・研究主任 ・2学期の成果と課題の整理
1月 2月	計画 実践	研究主任 学力向上案（3学期）を立案		研究主任 ・全校の取り組みを定着度テストで確認
3月	検証	全職員 ・県評価問題Ⅱの事前指導		教務主任 ・アンケートで評価を把握（児童・職員） 校長・教頭・教務主任・研究主任 ・3学期の成果と課題を整理 研究主任 ・取組の検証と来年度に向けての課題の設定